

コーディネーター同士の つながりについて

令和8年1月13日

児玉郡市障害者基幹相談支援センターほみか

五月女裕美

自己紹介

- 平成27年まで 社会福祉法人ルピナス会 ルピナス鴻巣ホーム
障害者支援施設（知的障害者） 生活支援員として勤務
- 平成27年 // 相談支援事業所ルピナス鴻巣 相談支援専門員
- 平成30年 // 相談支援事業所ルピナス本庄 相談支援専門員
- 令和元年 医療的ケア児等コーディネーター養成研修修了
- 令和6年 児玉郡市障害者基幹相談支援センターYou&Iほみか

児玉郡市（1市3町）紹介

【人口】（令和7年11月現在）

本庄市 76,218人

美里町 10,592人

神川町 12,626人

上里町 30,437人(10月)

計 129,873人

- ・医療機関はあるが、医ケア児者の受け入れは難しい。
- ・児童発達支援事業所、放課後等デイサービス、生活介護事業所(多機能事業所) 1事業所ずつ。
- ・看護師常駐の障害者支援施設 1か所。
- ・レスパイト入院可能な病院(者) 1か所



令和7年4月 現在

在宅		本庄市	美里町	神川町	上里町	児玉郡市
障 害 児	重症心身障害児	6	0	1	0	7
	医療ケア児	4	1	0	0	5
障 害 者	重症心身障害者	36	0	2	4	42
	医療ケア者	2	0	0	0	2

重症心身障害児者の内、医療的ケアが必要な方も含まれる。

医ケアコーディネーター数

R 1	1名
R 3	1名
R 4	1名
R 5	1名
R 6	6名
R 7	6名

計 16名

医ケアコーディネーター
でもあり、基幹相談支援
センター所属でもある

1市3町、
各々？共同設置？

？

誰がどのように？

協議の場ってどうやってつくるの？

行政に相談



まずは地域の医ケアコーディネー
ターが集まり、話をしよう

顔合わせも
できる

!!

協議の場って？

?

【設置目的】

医療的ケア児等及びその家族が地域で安心して暮らしていくよう、関係機関等が連携し、切れ目のない支援体制を構築すること。

【具体的な取り組み】

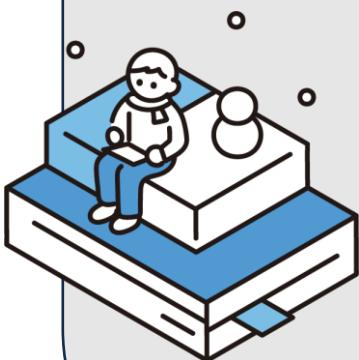
- ・医療的ケア児等の支援に係る**課題の抽出及び実態把握**に関するここと。
- ・医療的ケア児等に係る**関係機関の取組及び連携支援体制**に関するここと。
- ・医療、保健、障害福祉、保育、教育、子育て、労働などの**各分野の関係機関等が情報共有し、連携を図ること**。
- ・**医療的ケア児等コーディネーターとの連携**や、その運用上の課題等を共有・意見交換し、円滑な運用を目指すこと。



第1回(R6.11)

参加者

医ケアコーディネーター	医ケアコーディネーター以外
・行政 1名	・行政 1名
・委託相談(精神)生活支援センター1名	・委託相談(身体)生活支援センター2名
・計画相談支援事業所 1名	
・基幹相談支援センター2名	計8名



【コーディネーターの経験値】

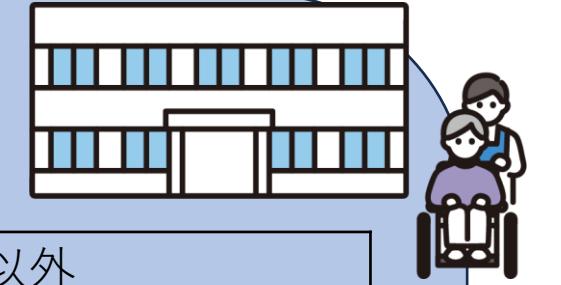
- こども課職員は過去に関わった経験有
- 計画相談として関わり有(2~3名)
- 全く関わった経験無し

【内容】

- ・コーディネーターの役割
- ・協議の場について
- ・1市3町で共同設置か単独設置か 等

あんまり意味がなかったかな・・。

顔を合わせる機会を作る事が大切！
(ザイオンス効果)



第2回(R 7.5)

参加者

医ケアコーディネーター	医ケアコーディネーター以外
・委託相談(精神)生活支援センター1名	・行政 2名
・基幹相談支援センター2名	
	計5名

【コーディネーターの経験値】

- こども課職員は過去に関わった経験有
- 計画相談として関わり有(2~3名)
- 全く関わった経験無し

【内容】

- ・医療用語の勉強
- ・事例検討

コーディネーター同士の関係つくり

研修に出ただけでは、身体状況のイメージが湧かないんだな。

コーディネーターの基礎職が何かによっても、経験値に差がある。

施設見学など視察が必要

今後も用語の勉強や事例検討が大切

次回は「協議の場」について具体策を学ぼう。→地域センターの方に来てもらう

難病関係は保健所に依頼しよう。

第3回(R 7.10)



参加者

医ケアコーディネーター	医ケアコーディネーター以外
・委託相談(知的)生活支援センター2名	・保健所 1名
・行政 4名	・行政 4名
・委託相談(精神)生活支援センター 2名	
・計画相談支援事業所 2名	
・基幹相談支援センター2名	計17名

【内容】

「地域センターたいよう」医ケア等コーディネーターへ講師依頼し、他地域の実情や協議の場の構成方法等について具体的に聞く機会をつくった。
事前に参加メンバーに質問事項を募集した。

他地域の構成の仕方や構成メンバー等聞けて、少しイメージがついた。

同地域にいるコーディネーター同士、顔を合わせる機会となり、連携がしやすくなった。